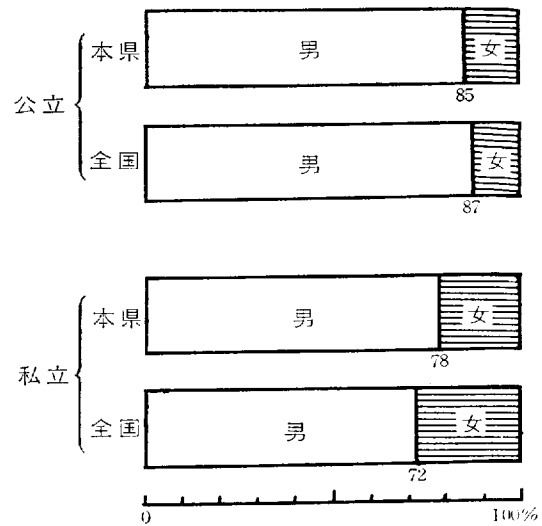


- (イ) 教員構成は全国と比較すると、教諭がやや上まわり、養護教諭が下まわっている。
- (ロ) 私立高校では助教諭、講師が全国よりかない多い。

ウ 男女別教員構成

男女別教員の割合は、第11図のとおりであるが、公立においては男子、本県85%に対し全国平均87%で2%少ない。私立においては本県78%は対し全国平均72%で6%多い。昭和39年度では、本県の場合、公立男子86%、私立男子73%であるので、公立では男子はやや増加し、私立では男子が減少している。

第11図 男女別教員構成の比較 (昭37)



エ 所有免許状別教員構成

第94表 高等学校教員免許状を所有する教員数 (昭和37)

		合計	1級	2級	仮免	臨免	無
本 県	公立	4,397	1,531 (34.8)	2,656 (60.4)	74 (1.7)	136 (3.1)	
	私立	403	69 (17.1)	266 (66.0)	92 (8.0)	96 (8.9)	
	計	4,800	4,522 (94.2)		278 (5.8)		
全 国	公立計	205,134	194,211 (94.7)		10,923 (5.3)		

免許状の所有状況は公立と私立を比較すると普通免許状所有者、公立 95%に対し私立は 83.1%で、私立学校は普通免許状所持者の割合が低い。

全国平均と本県との比較では0.5%程度の格差であるが、全国平均なみといえる。

第95表 担任教科に相当する免許状の有無別教員数 (昭和37)

		合計	1級	2級	仮免	臨免	無
県 立	公立	4,176	1,383 (33.1)	2,286 (54.7)	80 (1.9)	91 (2.2)	336 (8.1)
	私立	466	58 (12.4)	255 (54.7)	25 (5.4)	96 (7.7)	92 (19.8)

普通免許状を持って該当教科を担当しているものは、県立で 87.8%で、私立で 67%である。担当教科に相当する免許状を持たないで授業をしているものが、県立では 8.1%、私立で 19.8%もいることになる。